

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担 当 課：県北振興局 道路建設第一課
担当課長名：松武 進太郎

事業名	主要地方道佐々鹿町江迎線（鹿町工区）			事業区分	主要地方道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県佐世保市鹿町町鹿町 至：長崎県佐世保市江迎町乱橋					延長	2.12km
事業概要 主要地方道佐々鹿町江迎線（鹿町工区）は、鹿町町と江迎町をバイパス整備により結び、西九州自動車道へのアクセス向上を図り、地域間の物流効率化や交流人口の増大による観光産業振興を支援する事業							
H24年度事業化		都市計画決定 なし		H28年度用地着手		H28年度工事着手	
全体事業費		57.0億	事業進捗率		47.6%	供用済延長	0.4km
計画交通量		2,600台/日～7,000台/日（R12）					
費用対効果分析結果	B/C		総費用	(残事業)/(事業全体)	総便益	(残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体)	1.40	24.5/56.0億円		78.3/78.3億円		令和6年
(残事業)	3.20	〔事業費：24.0/55.5億円 維持管理費：0.5/0.5億円〕		〔走行時間短縮便益：75.1/75.1億円 走行費用減少便益：2.9/2.9億円 交通事故減少便益：0.3/0.3億円〕			
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施							
【全体事業】交通量変動：B/C=1.26～1.54（交通量 ±10%） 事業費変動：B/C=1.31～1.55（事業費 ±10%） 事業期間変動：B/C=1.39～1.40（事業期間±1年）							
【残事業】B/C=2.88～3.51（交通量 ±10%） B/C=2.91～3.55（事業費 ±10%） B/C=3.18～3.22（事業期間±1年）							
事業の効果等							
・地域連携の強化並びに西九州自動車道へのアクセス向上 ・地域の物流効率化や交流人口の増大による観光産業振興を支援 ・災害時の代替路確保(ダブルネットワーク化)							
関係する地方公共団体等の意見							
佐世保市より整備促進の要望が行われている。							
事業再評価監視委員会の意見							
—							
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等							
西九州自動車道の松浦佐々道路において、令和7年度に松浦IC～平戸IC間が供用予定とされ、未供用区間の平戸IC～佐々IC間についても整備中。また、佐々IC～大塔IC間が、現行の2車線から、4車線化も整備中。							
事業の進捗状況、残事業の内容等							
令和6年度末までの事業進捗率は47%で、用地進捗は100%完了。今後、トンネル(494m)と一部の道路土工を残すところで、引き続き事業進捗を図り、令和12年度の事業完成を目指す。							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等							
地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き事業の進捗を図り、令和12年度の事業完成を目指す。							
施設の構造や工法の変更等							
落石対策工追加、労務費及び資機材等の物価上昇による事業費の増。							
対応方針		事業継続					
対応方針決定の理由							
事業の必要性を考慮した場合、事業継続が妥当と判断される。							
事業概要図							
位置図 標準断面図							

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用と総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

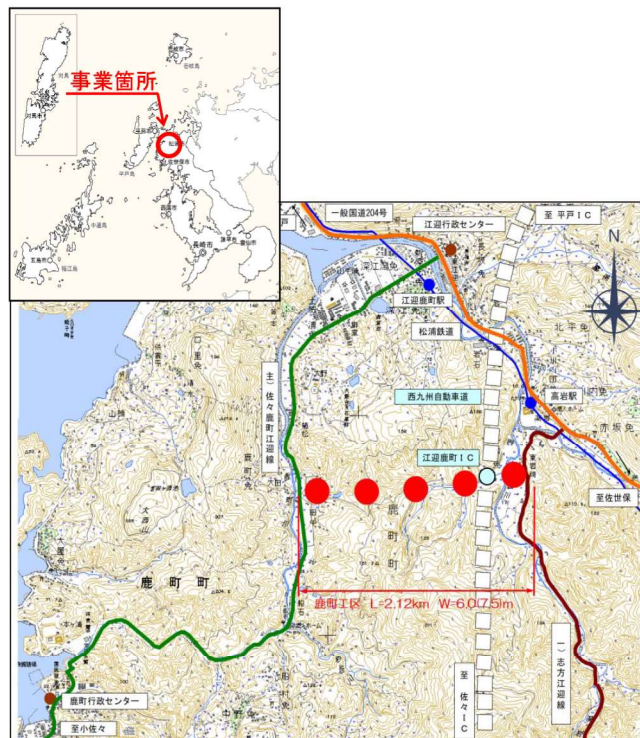
令和6年度 第4回 長崎県公共事業評価監視委員会

再評価対象事業

道建－15 道路改築事業
主要地方道佐々鹿町江迎線
(鹿町工区)

事業主体 長崎県

再評価
の理由 再評価後変更
(事業費・工期)

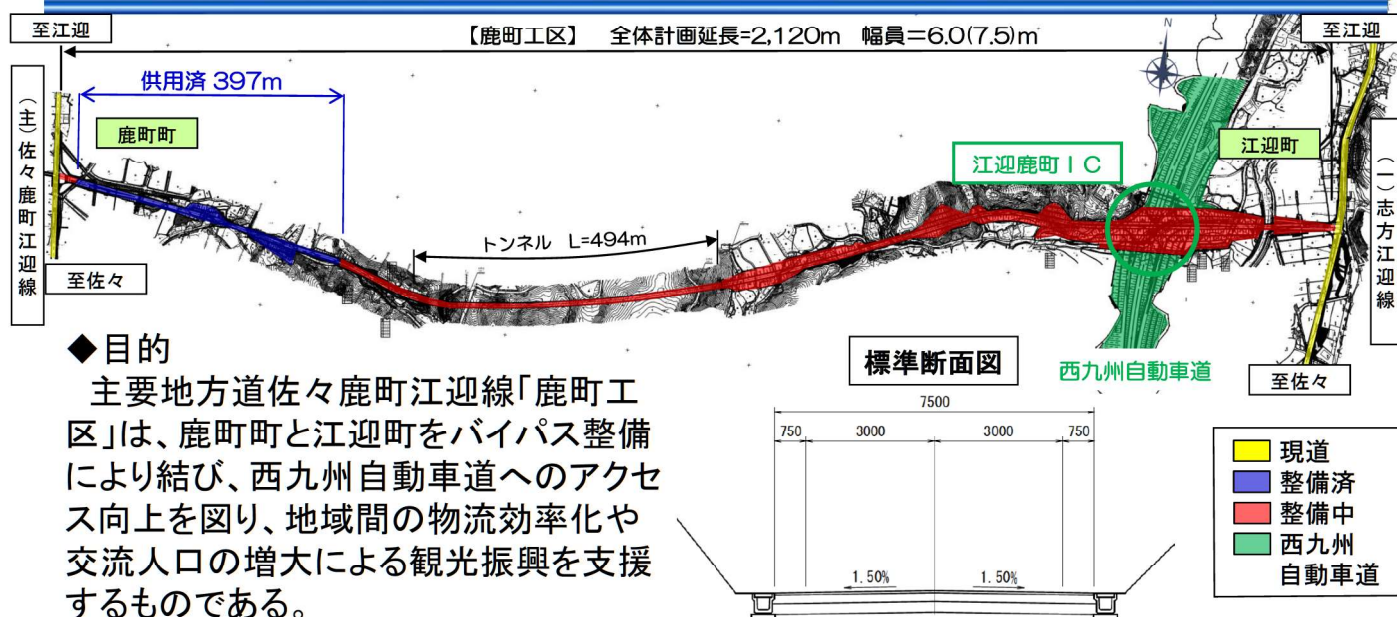


1

1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B/C	備考
		着工	完了			
当初 (H24 新規評価)	—	H24	R1	33.0	1.64	【工事概要】 延長2.50km 幅員6.0(7.5)m
第1回審議 (R3年度)	事業採択後 10年経過	H24	R8	45.0	1.45	【工事概要】 延長2.12km 幅員6.0(7.5)m 【当初評価からの変更概要】 西九州自動車道ICの計画決定による 河川付替計画の変更に伴う事業費増額 西九州自動車道ICとの計画調整等に 時間を要したことによる工期延長
第2回審議 (R6年度)	再評価後変更 (事業費・工期)	H24	R12	57.0	1.40	【工事概要】 延長2.12km 幅員6.0(7.5)m 【前回評価からの変更概要】 落石対策工の追加及び 物価上昇等に伴う事業費増額 落石対策工の追加による工期延長

2. 目的・事業概要・これまでの経緯



◆ 目的

主要地方道佐々鹿町江迎線「鹿町工区」は、鹿町町と江迎町をバイパス整備により結び、西九州自動車道へのアクセス向上を図り、地域間の物流効率化や交流人口の増大による観光振興を支援するものである。

◆事業概要

計画延長等	L=2.12km
幅員	W=6.0(7.5)m
計画交通量(R12)	2,600台～7,000台

◆事業経過

平成24年度	事業化
平成28年度	用地買収・工事着手
令和元年度	用地買収完了 ※ 397m供用開始

R6. 11月末現在
・事業進捗率 47%
(事業費ベース)
・用地進捗率 100%

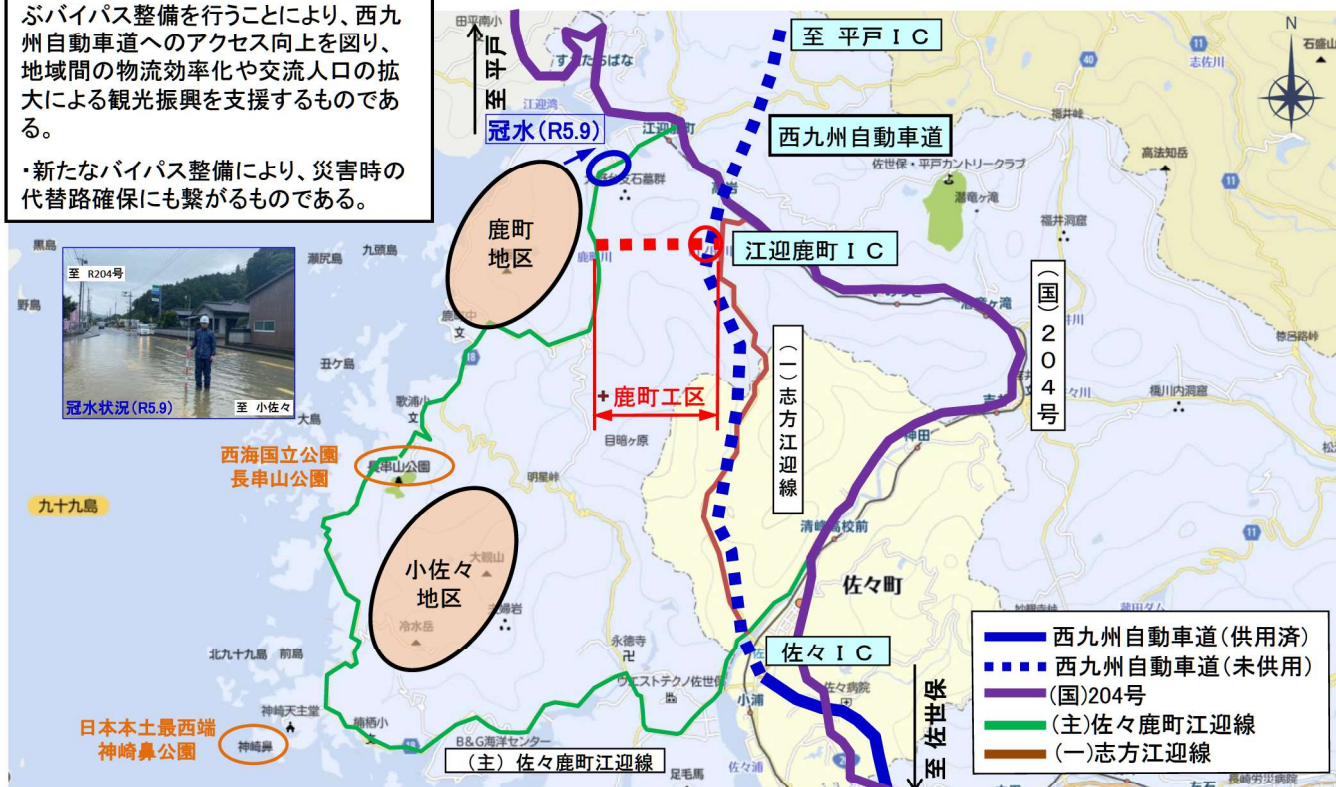
※追加落石対策分 R5買収済

3

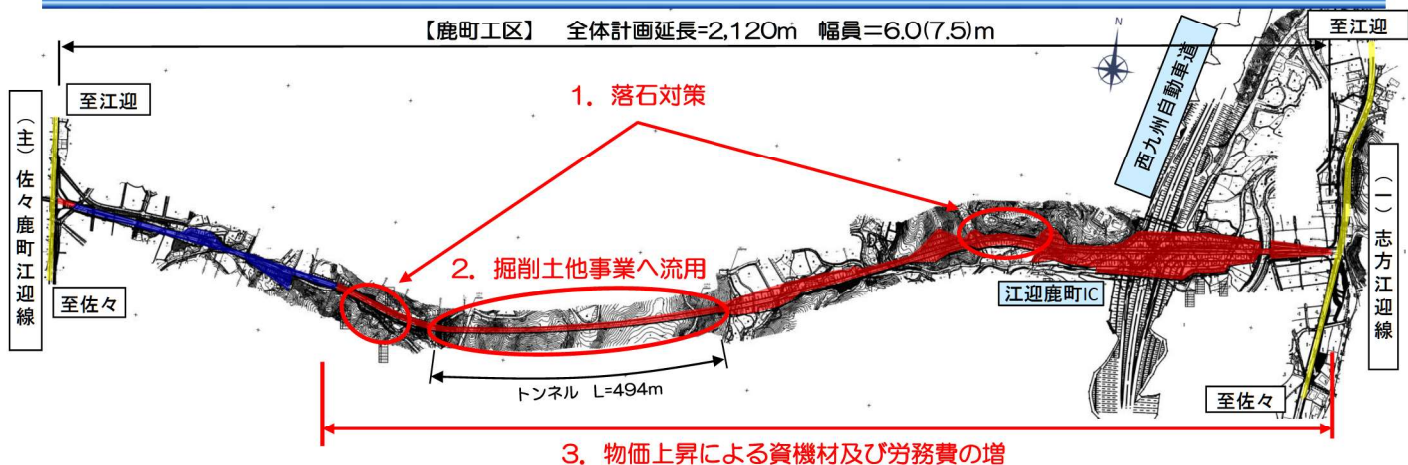
3. 事業の効果・必要性

・「鹿町工区」は、鹿町町と江迎町を結ぶバイパス整備を行うことにより、西九州自動車道へのアクセス向上を図り、地域間の物流効率化や交流人口の拡大による観光振興を支援するものである。

・新たなバイパス整備により、災害時の代替路確保にも繋がるものである。



4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)



【事業費増】

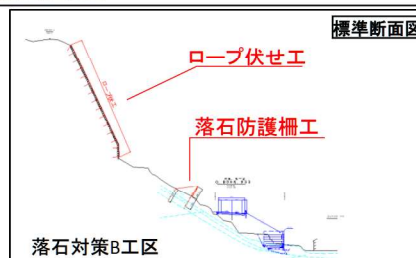
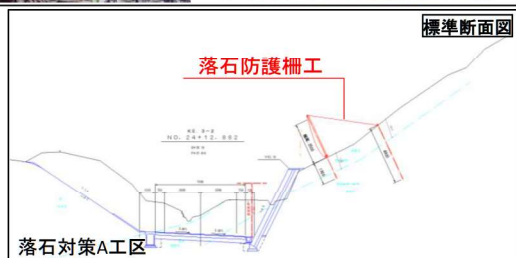
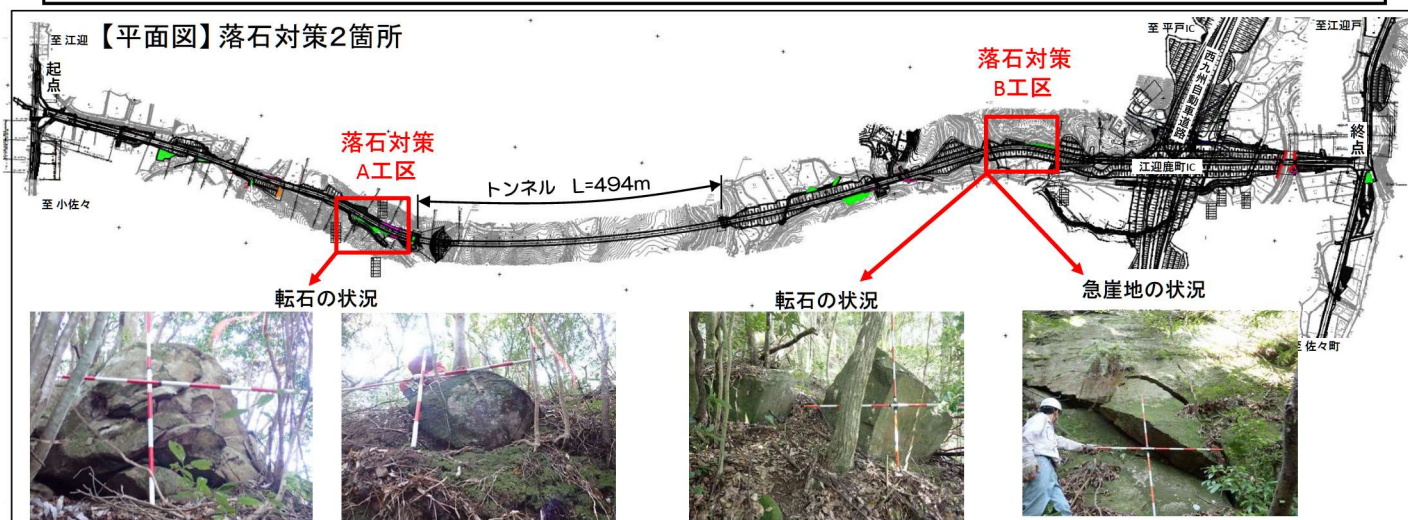
45.0億円(前回)
⇒57.0億円(今回)

事業費増減の内容			増減額	主な増減額理由
	工種	内容		
1	落石対策	落石対策工	約 2.8億円	道路への影響が懸念される転石群や急崖地形に対し落石対策工を追加
2	残土処理	他事業へ流用	約-0.4億円	トンネル掘削土において、他事業へ流用
3	その他		約 9.6億円	労務単価及び資機材等の物価上昇
	計		約 12.0億円	

5

4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

道路計画区間内に隣接する斜面から落石の危険性があることが確認されたため、転石群や急崖(きゅうがい)地形に対し、落石対策工を実施することで事業費が増(約+2.8億)となる。



6

4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

トンネル掘削土について、当初、自工区流用分を除き、処分を想定していたが、他事業との工程調整により、他事業(ほ場整備)へ流用が可能となったことから、残土処分費が不要となり、コスト縮減(約-0.4億円)が図られる。

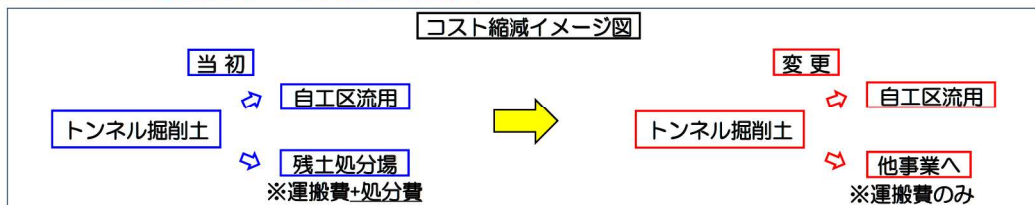
【鹿町工区と他事業の位置関係】



ほ場整備事業 事業範囲 平戸市 大野地区



コスト縮減イメージ図

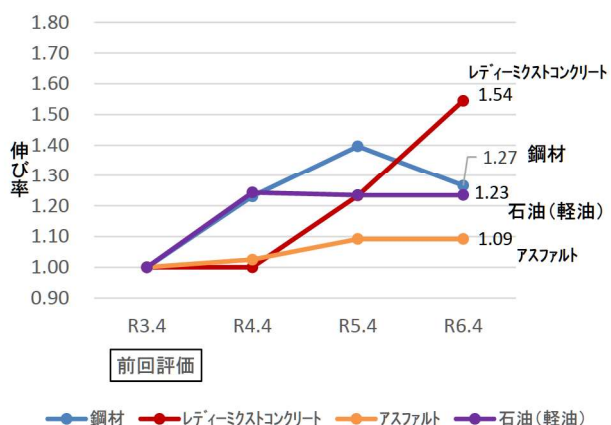


7

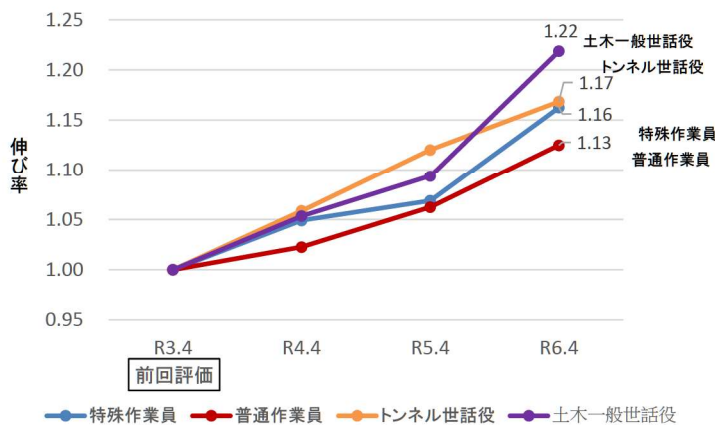
4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

前回評価(令和3年度)後の資機材・労務単価の上昇によって、増額(約+9.6億円)の必要が生じた。【※トンネル約+6.9億円増、道路改良等約+2.7億円増】

主要建設資材単価伸び率(長崎県単価)



主要労務単価伸び率(長崎県単価)



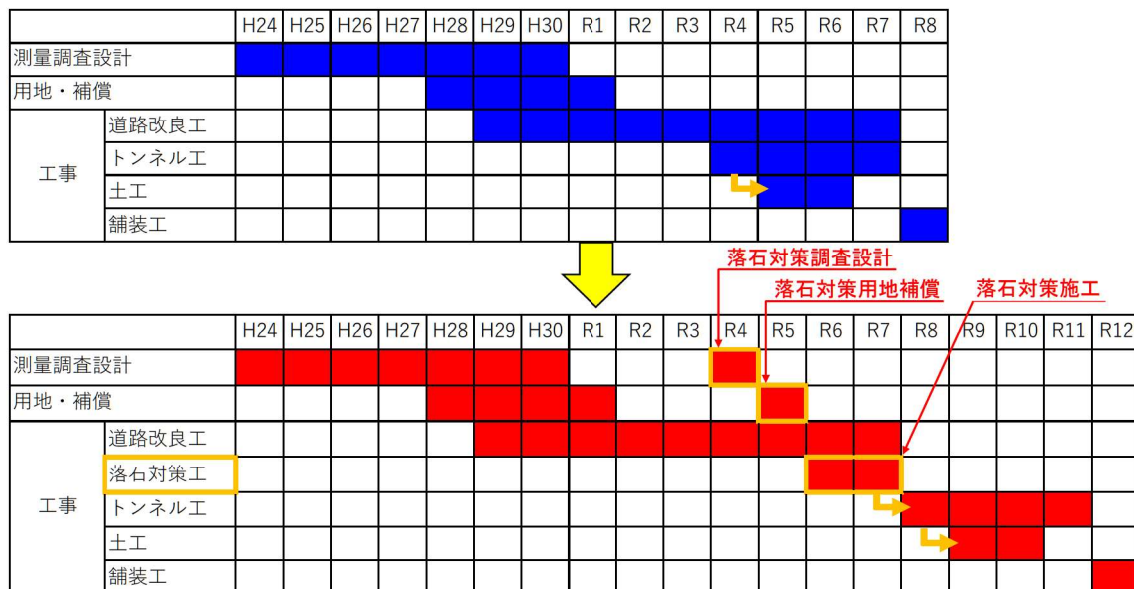
【出典】月刊建設物価 一般財団法人 建設物価調査会 R3年度及びR6年度

4. 事業の進捗状況(事業期間の見直し)

【完了工期】R8(前回)→R12(変更)

下記の理由により、事業期間の見直しを行う。

- ・道路計画区間に隣接する斜面から、落石の危険性があることから、落石対策を追加し、調査設計及び用地買収、施工に4年必要となった。
- ・落石対策箇所がトンネルの作業用道路付近にあること、また、近隣住民から落石を懸念する声もあったことから安全面を考慮し、トンネル工の着手時期を落石対策完了後に延期した。



5. 社会経済情勢等の変化

西九州自動車道の松浦佐々道路において、令和7年度に松浦IC～平戸IC間が供用予定とされ、未供用区間の平戸IC～佐々IC間についても整備中である。

また、佐々IC～大塔IC間が、現行の2車線(対面)から、4車線化(片側2車線)も整備中であり、県北地域の産業・経済・文化の更なる発展が期待されている。



6. 事業の投資効果

◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (令和3年度)	今回評価 (令和6年度)
残事業	2.97 = 61.1億円 / 20.6億円	3.20 = 78.3億円 / 24.5億円
全事業	1.45 = 61.1億円 / 42.0億円	1.40 = 78.3億円 / 56.0億円

〔費用〕

- ・道路整備に要する事業費、道路維持管理に要する費用

〔便益〕

- ・走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少

〔プラス要因〕

- ・費用便益分析マニュアルの改訂
→ 原単位(価格)の増加

〔マイナス要因〕

- ・事業費の増
- ・工期の延長

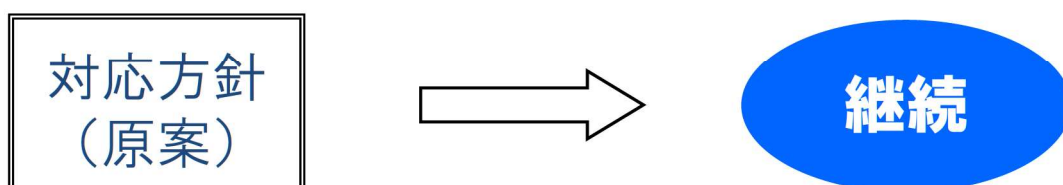
◆ B/Cでは計測できない効果

- ・緊急輸送道路の機能強化

11

7. 対応方針(原案)

- ◆ 鹿町地区と江迎地区を結ぶ、新たなバイパス道路であり、本事業を行うことにより、西九州自動車道(江迎鹿町IC)へのアクセス向上を図り、地域間の物流効率化や交流人口の増大による観光産業振興を支援する事業である。
また、災害時の代替道路(ダブルネットワーク化)に資する事業でもある。
- ◆ 事業進捗率は事業費ベースで約47%[27億/57億]であり、用地進捗率は100%となっている。(令和6年11月末現在)
- ◆ 「佐世保市」から整備促進を要望されている。
- ◆ 事業費の増額、期間の延長はあるものの、費用対効果が見込まれる。



12